

ミニディスクロージャー誌

平成 26 年 3 月期・営業のご報告

MINI DISCLOSURE 2014
HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役会長 堰八 義博
(北海道銀行 頭取)

取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(平成26年3月期・営業のご報告)」をお届けいたします。

当社グループは、平成16年9月1日、地方銀行では初となる広域金融グループとして誕生し、北陸・北海道・三大都市圏に広がるネットワークを基盤として、営業地域の経済発展への貢献と人々の豊かな暮らしを支えることに努めてまいりました。この10年間で、当社グループの課題であった公的資金の完済に加え、効率的に質の高いサービスを提供するための基幹システムの共同化を実現いたしました。預金量10兆円グループという目標も達成し、経営基盤の安定化に向けて大きく前進してまいりました。

さて、足元の北陸および北海道の経済環境については、日本銀行の金融緩和を含めた政府の成長戦略の効果が徐々に地域経済へ波及しつつあり、また北陸では来春の北陸新幹線開業が間近に迫り、地域企業の収益改善が期待できる環境が整ってまいりました。しかし一方では、引き続き金利が低水準で推移すると予想され、金融機関にとっては厳しい収益環境がしばらく続く見通しであります。

このようななか、中期経営計画“GO for IT!”で営業力の強化と経営の効率化に取り組んでおり、初年度にあたる平成25年度の実績は連結当期純利益273億円と計画を上回る水準でスタートを切ることができました。この結果も踏まえ、平成25年度の普通株式の期末配当につきましては、1株当たり25銭増配し、4円とさせていただきます。

当社グループは、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指し、地域へのより良い金融サービスの提供に取り組んでまいります。また、こうした活動を通じて、収益力と財務基盤の強化による企業価値向上に努めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年6月

目次

ごあいさつ	01
中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
地域とのかかわり	08
地域とともに(北陸銀行)	09
地域とともに(北海道銀行)	13
財務諸表	17
ほくほくフィナンシャルグループ単体	
ほくほくフィナンシャルグループ連結	18
北陸銀行単体	19
北海道銀行単体	20
株式のご案内	21
経営理念等	22

“GO for IT!”

■ 計画の概要

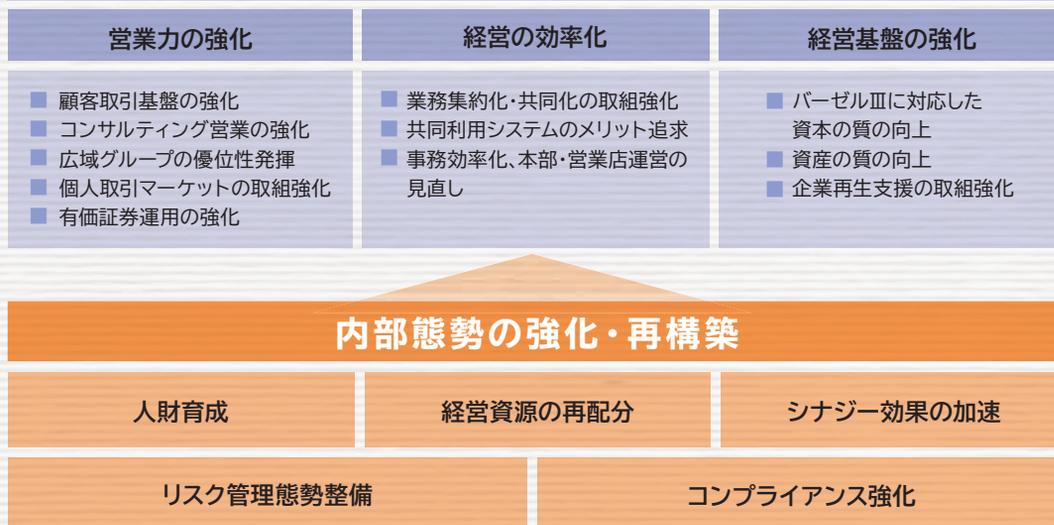
名称	中期経営計画 “GO for IT!”
期間	3年間(平成25年4月～28年3月)
位置付け	持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組み期間
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。 2. 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。 3. 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。

■ 平成28年3月期目標とする計数(2行合算・連結)

	平成28年3月期(目標)	平成26年3月期(実績)
総預金平残	10兆1,100億円	10兆1,292億円
貸出金平残(部直後)	7兆4,800億円	7兆3,440億円
コア業務純益	470億円	482億円
連結当期純利益	185億円	273億円
連結自己資本比率	10%以上	12.31%
OHR (コア業務粗利益ベース)	67%	66.08%
不良債権比率	2%台	2.67%

■ 計画の基本方針

施策の展開



業績ハイライト

グループの概要

地域とのかかわり

地域とともに

財務諸表

株式のご案内

経営理念等

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	26年3月期		25年3月期
		前期比	
経常収益	1,909	△ 81	1,991
経常利益	494	201	293
当期純利益	273	92	181
自己資本比率※	12.31%		11.88%

※26年3月期はバーゼルⅢ、25年3月期はバーゼルⅡベースで算出。

■ 北陸銀行・北海道銀行

(単位:億円)

	2行合算		
	26年3月期	前期比	25年3月期
経常収益	1,780	△ 66	1,846
コア業務粗利益	1,422	△ 32	1,455
経費(臨時処理分を除く)	940	△ 10	951
コア業務純益	482	△ 21	503
与信費用	△ 13	△ 184	170
経常利益	485	185	300
当期純利益	275	79	195

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前期比81億円減少の1,909億円、連結経常利益は前期比201億円増加の494億円、連結当期純利益は前期比92億円増加の273億円となりました。

連結自己資本比率は12.31%となりました。

26年3月期の期末配当につきましては、第1回第5種優先株式は所定の配当とし、1株当たり7円50銭、普通株式につきましては、中間配当を見送りとさせていただきますが、期末配当は昨年より1株当たり25銭増配の4円とさせていただきます。

コア業務粗利益は、資金利益と役員取引等利益の減少により前期比32億円減少の1,422億円となりましたが、コア業務純益は、経費が前期比10億円減少したため、前期比21億円の減少にとどまり482億円となりました。

経常利益は、与信費用が前期比184億円減少したため前期比185億円増加の485億円となりました。

これらの結果、当期純利益は前期比79億円増加の275億円となりました。

(単位:億円)

	北陸銀行		
	26年3月期	前期比	25年3月期
経常収益	977	△ 52	1,030
コア業務粗利益	770	△ 52	823
経費(臨時処理分を除く)	505	△ 3	509
コア業務純益	264	△ 49	314
与信費用	△ 42	△ 136	93
経常利益	304	120	183
当期純利益	178	55	123
自己資本比率※	12.40%		11.78%

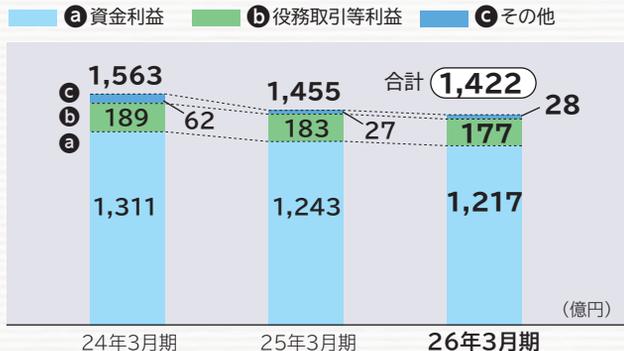
※26年3月期はバーゼルⅢ、25年3月期はバーゼルⅡベースで算出。

(単位:億円)

	北海道銀行		
	26年3月期	前期比	25年3月期
経常収益	802	△ 14	816
コア業務粗利益	652	20	631
経費(臨時処理分を除く)	434	△ 7	442
コア業務純益	217	28	189
与信費用	28	△ 47	76
経常利益	180	64	116
当期純利益	96	24	72
自己資本比率※	10.76%		11.23%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

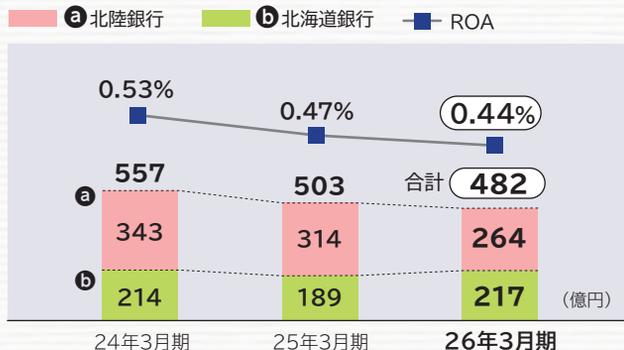


資金利益は、貸出金利息の減少により前期比26億円減少の1,217億円となりました。

役務取引等利益は、保険販売手数料の減少を主因に前期比5億円減少の177億円となりました。

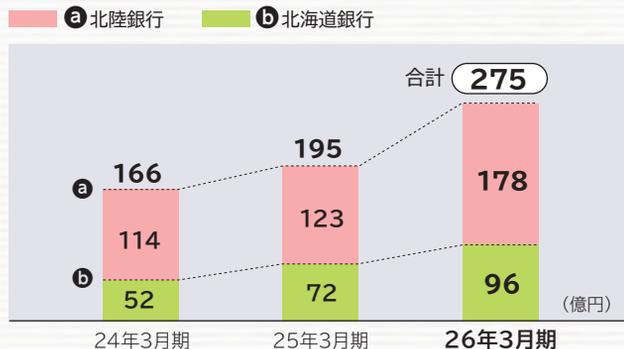
その他の利益は、前期同水準の28億円となりました。
これらの結果、コア業務粗利益は前期比32億円減少の1,422億円となりました。

■ コア業務純益<2行合算>



コア業務粗利益は前期比32億円減少しましたが、経費が前期比10億円減少したことから、コア業務純益は前期比21億円の減少にとどまり482億円となりました。

■ 当期純利益<2行合算>



与信費用が前期比184億円減少したことにより、経常利益は前期比185億円増加の485億円、当期純利益は前期比79億円増加の275億円となりました。

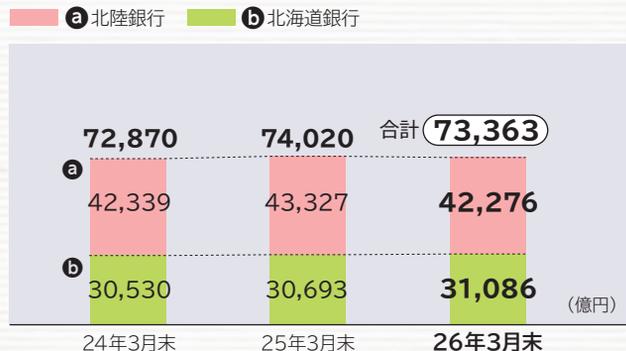
預金・貸出金の状況

■ 預金(含む譲渡性預金) <2行合算>



預金は、個人のお客さまを中心に増加したことにより、25年3月末比1,638億円増加の10兆1,720億円となりました。

■ 貸出金<2行合算>



貸出金は、住宅系ローンで増加したものの事業性貸出が減少したため25年3月末比657億円減少の7兆3,363億円となりました。

■ 中小企業等貸出残高<2行合算>



中小企業等貸出は、地域金融の担い手として積極的に取り組んでおりますが、資金需要の回復には至らず25年3月末比529億円減少の4兆6,396億円となりました。

健全性の指標

■ 自己資本比率<FG連結>

■ 自己資本 ■ 自己資本比率

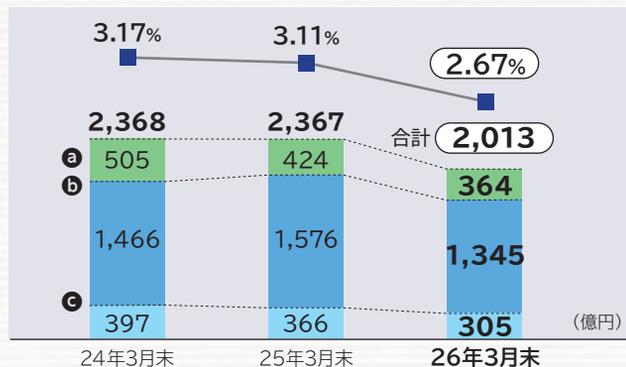


財務の健全性を示す自己資本比率は、12.31%となりました。

※26年3月末はバーゼルⅢベース、25年3月末以前はバーゼルⅡベースで算出しています。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>

■ a 要管理債権 ■ b 危険債権
■ c 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 開示債権比率



金融再生法開示債権は、25年3月末比353億円減少の2,013億円となりました。

開示債権比率は同0.44ポイント低下の2.67%となりました。

■ 格付

日本格付研究所

JCR



格付投資情報センター

R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行は、JCRおよびR&Iより「A(シングルAフラット)」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ております。

銀行持株会社



名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
 本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
 業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理
 2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 1,351,630,146株
 第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役・監査役の役職および氏名 (平成26年6月25日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役会長	堰八 義博	取締役	二階堂裕隆
取締役社長	庵 栄伸	取締役	大島 雄次
取締役	麦野 英順	常勤監査役	稲葉 純一
取締役	笹原 晶博	監査役	林 則清
取締役	中野 隆	監査役	前泉 洋三
取締役	森田 勉	監査役	川田 達男

■ 従業員の数 専任者13名、兼務者50名、計63名

■ 設立日 平成15年9月26日

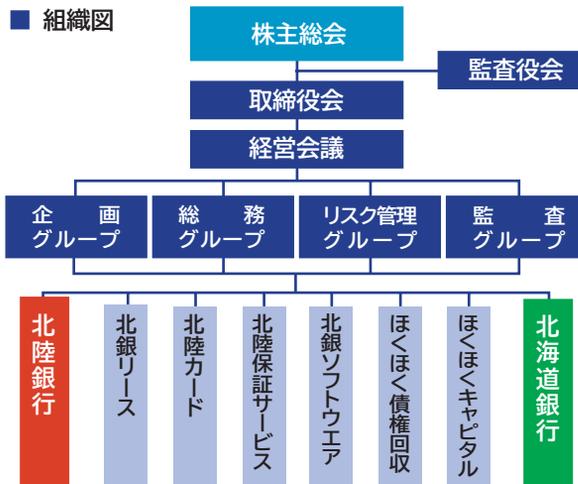
■ 各組織の構成および役割等

取締役会 グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。

監査役会 監査の方針、監査役職務の執行に関する事項を決定し、取締役職務の執行を監査します。

経営会議 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

■ 組織図



■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。

(株)北海道銀行

リース業務、代金回収業務などを行っております。

北銀リース(株)

(株)北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。

北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。

北銀ソフトウェア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。

ほくほく債権回収(株) 銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っております。

ほくほくキャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

グループの広域ネットワーク (平成26年3月末現在)

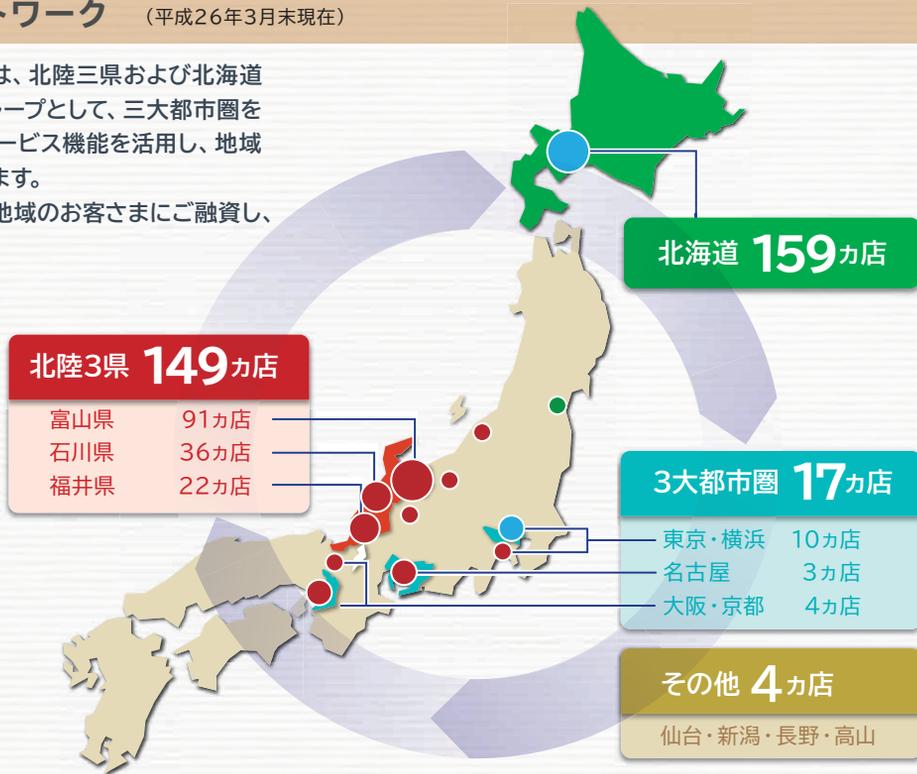
ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

海外

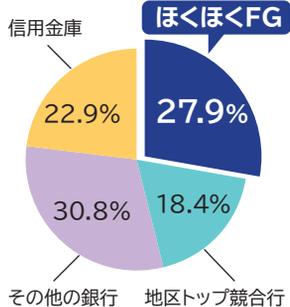


- 上海駐在員事務所
- 瀋陽駐在員事務所
- 大連駐在員事務所
- シンガポール駐在員事務所
- バンコク駐在員事務所
- ニューヨーク駐在員事務所
- ロンドン駐在員事務所
- ユジノサハリンスク駐在員事務所
- ウラジオストク駐在員事務所

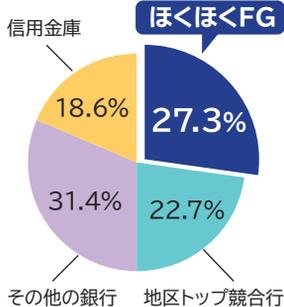


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

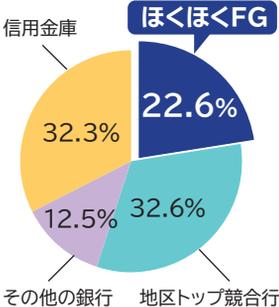


貸出金のシェア

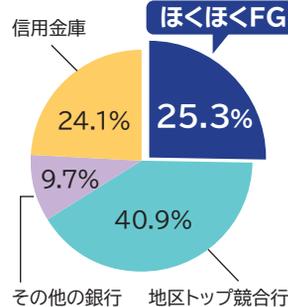


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア

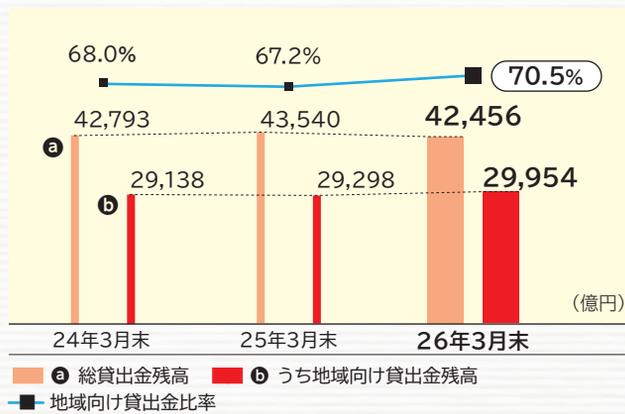


※シェアは、平成25年9月末現在 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成。
 ※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

貸出金の状況

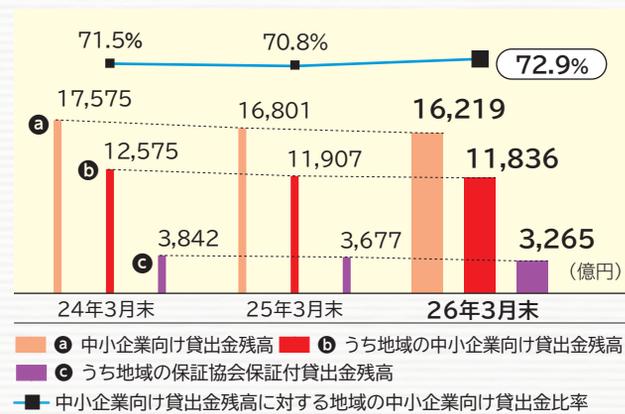
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆9,954億円となり、地域向け貸出金比率は70.5%となっています。



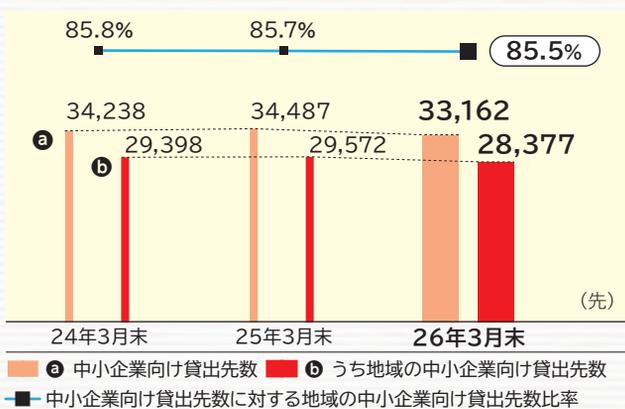
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆6,219億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆1,836億円と中小企業向け貸出金の72.9%を占めています。

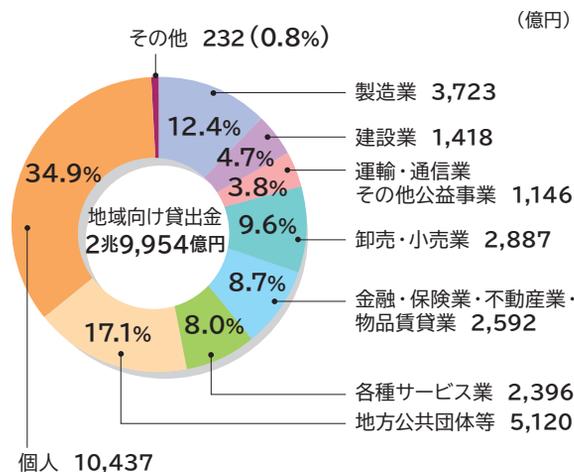


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は33,162先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は28,377先と85.5%を占めています。



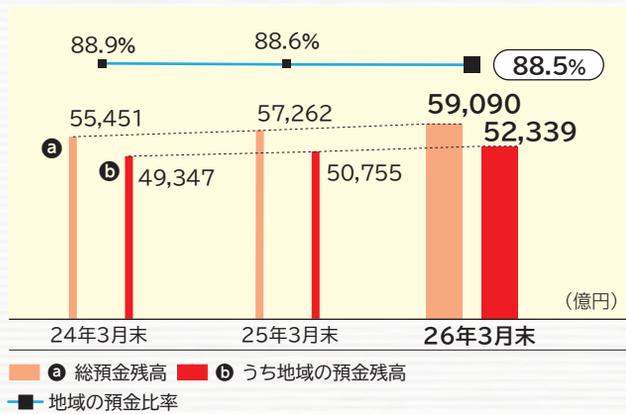
■ 地域の業種別貸出残高 (平成26年3月末)



預金の状況

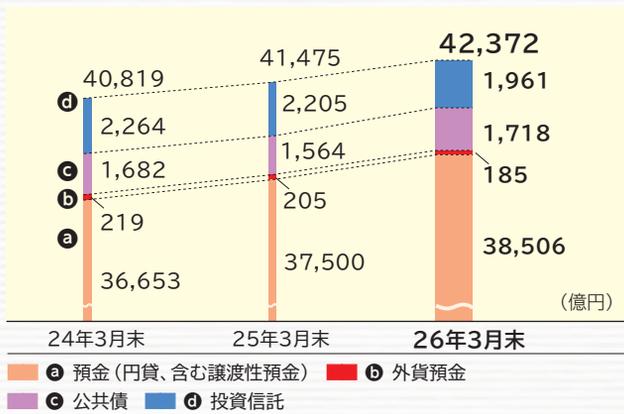
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

総預金は5兆9,090億円となり、うち5兆2,339億円が地域の預金で、総預金の88.5%を占めています。



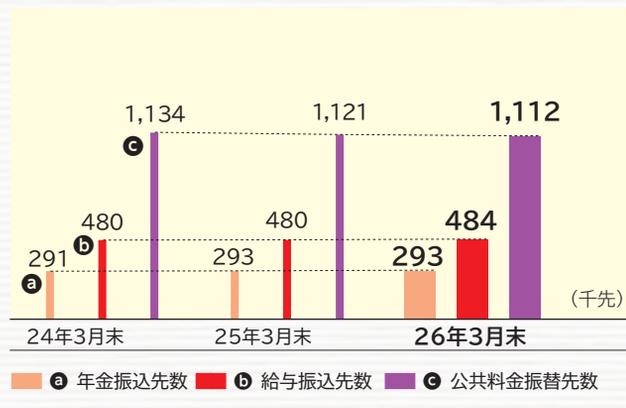
■ 個人預かり資産の状況

個人預かり資産残高は4兆2,372億円で、うち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品の残高は、3,865億円となりました。



■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は29万3千先、給与振込は48万4千先、公共料金の自動口座振替は111万2千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいています。



お取引が増えると「お得」も増える 「ほくぎんポイント倶楽部」

北陸銀行とのお取引をポイント化し、ポイント数にあわせてさまざまな「お得」を提供するサービスです。例えば、給与振込、公的年金受取、住宅ローンのいずれかのお取引で北陸銀行のATM時間外手数料が無料、提携コンビニATMご利用手数料が月間5回まで無料となります。

すでにお取引のある方はもちろん、新規に口座開設される方も口座作成と同時に申し込みいただけます。詳しくは北陸銀行のホームページをご覧ください。



地域活性化のための取り組み

● 富山県と「連携と協力に関する包括協定」を締結

富山県と産業振興、観光活性化や文化、スポーツ、防災など11項目で連携していく「連携と協力に関する包括協定」を締結しました。これまで富山県とは、海外での県事務所の運営など個別に連携してき

ましたが、平成27年3月の北陸新幹線開業に関係をさらに深め、地域の活性化に努めます。



● 「街なか美術館」で中心市街地を活性化



平成24年9月に開館した美術館「ギャラリー・ミレー」では、ミレーなどのバルビゾン派の名画の常設展示に加え、企画展やクラシックコンサートの開催など多彩な活動が奏功し、平成25年11月には

来館者が2万人を超えました。全国のミレーファンにも来館いただき着実に知名度が高まっています。平成27年には、富山市のガラス美術館などがオープンし、既存の美術館とあわせて美術館巡りが実現します。ミレーなどの世界的絵画を気軽に鑑賞できる「街なか美術館」として中心市街地の活性化に協力していきます。

TOPICS 北陸銀行

富山大学と共同で企業分析テキストを出版

平成26年1月、富山大学と「事例とドリルで学ぶ企業総合分析」を出版しました。今回の出版は、富山大学と結んでいる包括連携協定の具体的連携事業であり、3冊目のテキストとなります。同大学の経済学部で開講している北陸銀行の寄付講座「財務分析論」の講義内容を収録し、具体的な事例から企業の財務分析の手法を解説しており、社会人にも参考になるテキストとなっています。



「ほくぎんダイレクトA」をリニューアル

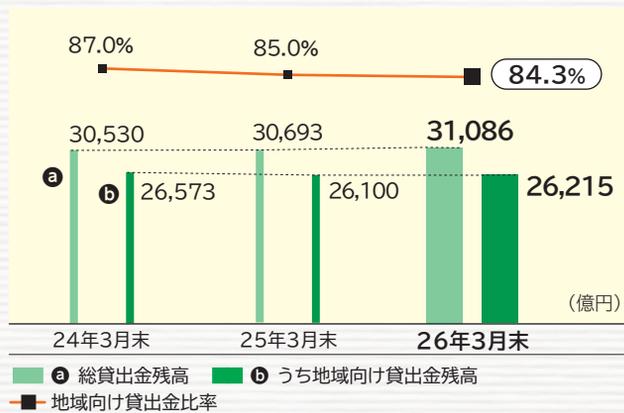
見やすさ、使いやすさを向上させるため、昨年11月、今年3月と2回にわたり、ほくぎんダイレクトAをリニューアルしました。画面デザインの変更、新機能の追加、機能の充実を図り、お客さまに安全に、そして便利にお使いいただけるようになりました。特に、新規お申し込みにおいては、従来の店頭窓口等へのお申込書ご提出に加え、直接パソコン、スマートフォンからのお申し込みができるようになりました。



貸出金の状況

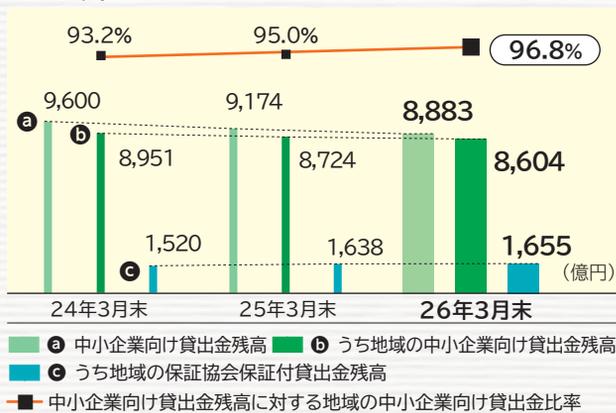
■ 地域向け貸出金の状況

地域向け貸出金は、2兆6,215億円となりました。総貸出金のうち地域向け貸出金比率は84.3%となっています。



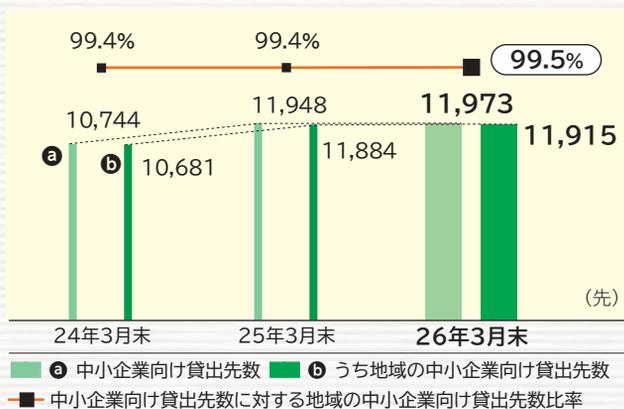
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は8,883億円で、地域の中小企業向け貸出金は8,604億円と中小企業向け貸出金の96.8%を占めています。

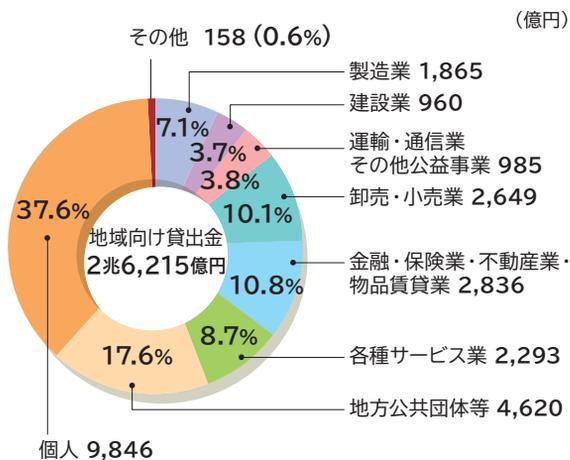


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は11,973先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は11,915先と99.5%を占めています。



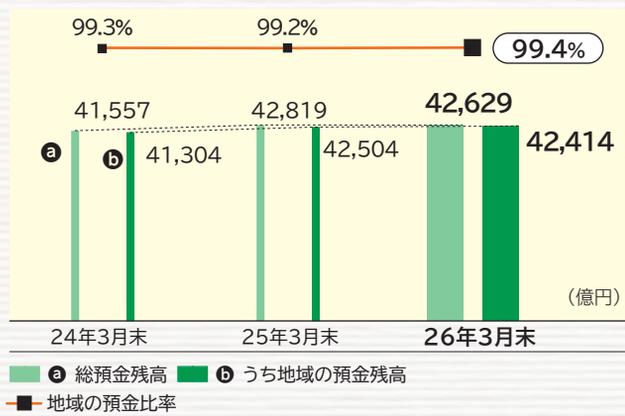
■ 地域の業種別貸出残高 (平成26年3月末)



預金の状況

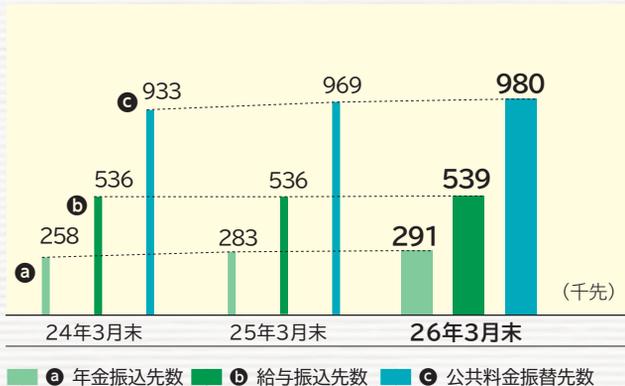
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

総預金は4兆2,629億円となり、うち4兆2,414億円が地域の預金で、総預金の99.4%を占めています。



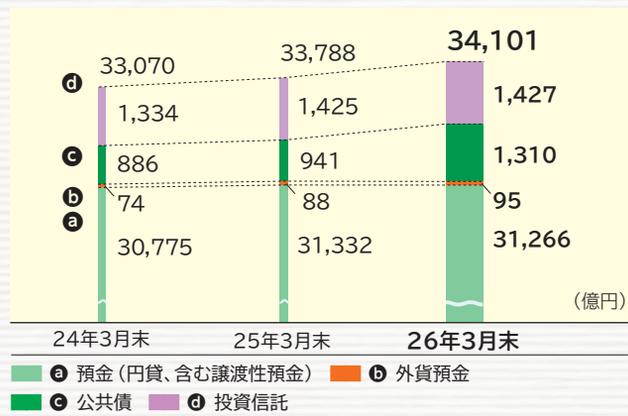
■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は29万1千先、給与振込は53万9千先、公共料金の自動振替は98万先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいています。



■ 個人預かり資産の状況

個人預かり資産残高は3兆4,101億円で、うち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品の残高は、2,834億円となりました。



お取引内容照会サービス 「IBmini(アイビーミニ)」の 取り扱いを始めました

北海道銀行では平成25年11月より、お取引内容照会サービス「IBmini(アイビーミニ)」の取り扱いを始めました。

このサービスは、キャッシュカードをお持ちの個人のお客さまであればどなたでもパソコンやスマートフォンから登録するだけで、資金移動(振込・振替等)を伴わない「残高照会」や「入出金取引照会」をリアルタイムでご確認いただけます。



お取引先の成長を支援する取り組み

海外進出支援

●「ベトナムへ挑む！食品輸出サポートセミナー&商談会」を開催

ベトナムに精通した講師によるセミナーおよびベトナムから食品卸業者バイヤーを招聘しての商談会を開催しました。講師からはベトナムで事業を行うときの注意点や日本企業に求めるものについてなど有意義な話をいただきました。商談会では前日に行われた試食会の効果もあり、多くの具体的な商談が実現しました。



北陸銀行のお取引先も参加されました。



セミナー参加者数 69名
バイヤー数 …………… 4社
出展企業数 …… 14社
商談件数 …………… 32件

●「ウラジオストク駐在員事務所」を開設

3月18日、極東ロシアの沿海地方ウラジオストク市に、北海道銀行としてロシア第二の拠点となる駐在員事務所を開設しました。

ウラジオストク市は、ロシア連邦政府の極東開発の拠点として著しい発展を遂げており、今後、道内企業のビジネスチャンスの拡大

が大いに期待できます。設立5年を迎えるユジノサハリンスク駐在員事務所との相乗効果を発揮し、お客さまのロシアビジネスのサポートを積極的に行います。



6次産業化支援

●「東北・北海道6次産業化ビジネスフォーラム」を開催

東北の地銀10行と「東北・北海道連携」「6次産業化」をテーマとしたフォーラムを2日にわたり開催しました。初日は6次産業化に対する知識を深めていただくための基調講演、パネルディスカッションを行い、2日目は東北・北海道の企業80社が6次産業化の実現に向け、活発な商談を行いました。



販路拡大支援

●「北海道の『食』特別商談会」を各地で開催

地域の特色を生かすため地方都市での開催に重点を置き、胆振・日高、十勝、オホーツク地方などで開催しました。25年度はバイヤーと出展企業との個別商談のほかに、ご要望が多かった商品開発・デザインの専門家をお招きして出展企業の課題にお応えしました。

開催回数 …………… 8回
バイヤー数 …………… 24社
出展企業数 …… 106社
商談件数 …………… 255件



地域活性化のための取り組み

●「道内四高専企業説明会」を開催

平成19年に道内四高専との間に締結した「連携協力協定」に基づき「道内四高専企業説明会」を旭川市で開催しました。

本説明会は、厚生労働省が地域の雇用対策を目的として実施している「戦略産業雇用創造プロジェクト」事業の一環として行っています。

道内企業による企業説明を通じて、四高専との情報交換の場を設けることにより相互の理解を深め、就職機会の拡大と優秀

な人材の確保に繋がっていただくことを目的に開催しています。「北海道のものづくり産業」の将来を担う優秀な人材が道内で活躍できるよう応援しています。



TOPICS 北海道銀行

音更支店の新規出店

12月9日、音更支店を新規出店しました。

音更支店は、音更町、土幌町、上土幌町を営業地域としており、十勝地方では昭和62年12月の帯広西支店以来の新規出店となります。

店内には個別の相談ブースを設置し、資産運用相談の専門担当者を配置する等お客さまのご相談に全力でお応えします。



ホームページ全面リニューアル

4月1日にホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、お客さまの利便性向上は元より、見やすく使いやすいデザインへ一新し、新たなサービスとして道内金融機関で初めて、ご来店いただく前に普通預金口座の新規開設申込手続きができる機能等を追加しています。

旭川市・北海道銀行連携協定記念 「北海道銀行コレクション」展を開催

11月29日～12月15日の期間、「北海道銀行コレクション」展を旭川市で開催しました。本展は、北海道銀行発祥ゆかりの地である旭川市と北海道銀行が連携協定を締結したことを記念し、縁あって北海道銀行が所蔵することとなった絵画や彫刻等を旭川市・道北の皆さまに鑑賞していただくことを目的に企画しました。



貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	8,216	流動負債	237
現金及び預金	6,873	預り金	4
前払費用	2	未払費用	138
未収収益	134	未払配当金	78
未収還付法人税等	1,201	未払法人税等	7
その他	4	その他	7
固定資産	271,031	固定負債	43,091
有形固定資産	0	社債	43,000
器具及び備品	0	役員退職慰労引当金	91
無形固定資産	0		
商標権	0	負債の部合計	43,328
ソフトウェア	0	純資産の部	
投資その他の資産	271,030	資本金	70,895
関係会社株式	227,870	資本剰余金	137,092
関係会社長期貸付金	43,000	資本準備金	82,034
その他	160	その他資本剰余金	55,057
		利益剰余金	29,234
		その他利益剰余金	29,234
		繰越利益剰余金	29,234
		自己株式	△ 1,494
		株主資本合計	235,727
		新株予約権	191
		純資産の部合計	235,918
資産の部合計	279,247	負債及び純資産の部合計	279,247

損益計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位:百万円)

営業収益	6,564
関係会社受取配当金	5,883
関係会社受入手数料	681
営業費用	514
販売費及び一般管理費	514
営業利益	6,050
営業外収益	346
関係会社貸付金利息	328
その他の営業外収益	18
営業外費用	514
社債利息	328
社債発行費	117
事務委託費	69
その他の営業外費用	0
経常利益	5,882
税引前当期純利益	5,882
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等合計	1
当期純利益	5,880

株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	70,895	82,034	55,061	137,096	29,988	29,988	△1,512	236,467	107	236,575	
当期変動額											
剰余金の配当	-	-	-	-	△6,634	△6,634	-	△6,634	-	△6,634	
当期純利益	-	-	-	-	5,880	5,880	-	5,880	-	5,880	
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△17	△17	-	△17	
自己株式の処分	-	-	△4	△4	-	-	35	30	-	30	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	83	83	
当期変動額合計	-	-	△4	△4	△753	△753	18	△740	83	△656	
当期末残高	70,895	82,034	55,057	137,092	29,234	29,234	△1,494	235,727	191	235,918	

連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	844,182	預金	9,912,365
コールローン及び買入手形	85,734	譲渡性預金	235,439
買入金銭債権	80,161	コールマネー及び売渡手形	57,273
特定取引資産	5,007	特定取引負債	1,434
金銭の信託	7,759	借入金	121,797
有価証券	2,493,619	外国為替	151
貸出金	7,323,290	社債	58,000
外国為替	14,506	その他負債	123,643
その他資産	98,254	退職給付に係る負債	14,961
有形固定資産	103,563	役員退職慰労引当金	328
建物	33,637	偶発損失引当金	2,499
土地	62,521	睡眠預金払戻損失引当金	1,252
リース資産	774	再評価に係る繰延税金負債	6,872
建設仮勘定	360	支払承諾	73,661
その他の有形固定資産	6,269	負債の部合計	10,609,681
無形固定資産	32,905	純資産の部	
ソフトウェア	9,960	資本金	70,895
のれん	21,898	資本剰余金	148,193
リース資産	296	利益剰余金	222,995
その他の無形固定資産	749	自己株式	△ 1,529
繰延税金資産	11,378	株主資本合計	440,554
支払承諾見返	73,661	その他有価証券評価差額金	61,301
貸倒引当金	△59,218	繰延ヘッジ損益	△ 194
		土地再評価差額金	8,182
		退職給付に係る調整累計額	△ 6,077
		その他の包括利益累計額合計	63,211
		新株予約権	191
		少数株主持分	1,168
		純資産の部合計	505,125
資産の部合計	11,114,807	負債及び純資産の部合計	11,114,807

連結損益計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位: 百万円)

経常収益	190,966
資金運用収益	130,268
(うち貸出金利息)	(106,127)
(うち有価証券利息配当金)	(22,053)
役員取引等収益	37,067
特定取引収益	573
その他業務収益	15,072
その他経常収益	7,984
経常費用	141,517
資金調達費用	8,875
(うち預金利息)	(5,049)
役員取引等費用	14,342
その他業務費用	8,753
営業経費	105,212
その他経常費用	4,333
経常利益	49,448
特別利益	187
特別損失	2,302
税金等調整前当期純利益	47,333
法人税、住民税及び事業税	5,875
法人税等調整額	14,062
法人税等合計	19,938
少数株主損益調整前当期純利益	27,394
少数株主利益	61
当期純利益	27,332

連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	70,895	148,197	201,138	△1,547	418,684	52,630	△301	9,340	-	61,669	107	1,089	481,550
当期変動額													
剰余金の配当	-	-	△6,634	-	△6,634	-	-	-	-	-	-	-	△ 6,634
当期純利益	-	-	27,332	-	27,332	-	-	-	-	-	-	-	27,332
自己株式の取得	-	-	-	△17	△17	-	-	-	-	-	-	-	△ 17
自己株式の処分	-	△4	-	35	30	-	-	-	-	-	-	-	30
土地再評価差額金の取崩	-	-	1,158	-	1,158	-	-	-	-	-	-	-	1,158
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	8,671	106	△1,158	△6,077	1,542	83	79	1,705
当期変動額合計	-	△4	21,856	18	21,870	8,671	106	△1,158	△6,077	1,542	83	79	23,575
当期末残高	70,895	148,193	222,995	△1,529	440,554	61,301	△194	8,182	△6,077	63,211	191	1,168	505,125

貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	696,147	預金	5,712,023
コールローン	85,734	譲渡性預金	197,074
買入金銭債権	80,160	コールマネー	52,642
特定取引資産	3,169	特定取引負債	1,434
有価証券	1,238,326	借入金	111,942
貸出金	4,227,696	外国為替	119
外国為替	7,172	その他負債	49,051
その他資産	19,449	退職給付引当金	105
有形固定資産	78,867	役員退職慰労引当金	89
無形固定資産	5,784	偶発損失引当金	1,675
前払年金費用	4,615	睡眠預金払戻損失引当金	842
繰延税金資産	749	再評価に係る繰延税金負債	6,872
支払承諾見返	36,148	支払承諾	36,148
貸倒引当金	△23,651	負債の部合計	6,170,022
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	80,377
		利益準備金	8,706
		その他利益剰余金	71,671
		繰越利益剰余金	71,671
		株主資本合計	235,786
		その他有価証券評価差額金	46,576
		繰延ヘッジ損益	△194
		土地再評価差額金	8,182
		評価・換算差額等合計	54,563
		純資産の部合計	290,349
資産の部合計	6,460,371	負債及び純資産の部合計	6,460,371

損益計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位:百万円)

経常収益	97,797
資金運用収益	71,739
(うち貸出金利息)	(57,703)
(うち有価証券利息配当金)	(12,304)
役務取引等収益	16,220
特定取引収益	309
その他業務収益	2,738
その他経常収益	6,789
経常費用	67,325
資金調達費用	5,423
(うち預金利息)	(2,980)
役務取引等費用	7,097
その他業務費用	5
営業経費	53,974
その他経常費用	824
経常利益	30,471
特別利益	5
特別損失	2,102
税引前当期純利益	28,374
法人税、住民税及び事業税	1,106
法人税等調整額	9,434
法人税等合計	10,540
当期純利益	17,833

株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主 資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金							利益剰余金 合計
当期首残高	140,409	14,998	14,998	8,056	56,575	64,632	220,040	39,557	△301	9,340	48,596	268,637
当期変動額												
剰余金の配当	-	-	-	649	△3,896	△3,247	△3,247	-	-	-	-	△3,247
当期純利益	-	-	-	-	17,833	17,833	17,833	-	-	-	-	17,833
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	1,158	1,158	1,158	-	-	-	-	1,158
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	7,018	106	△1,158	5,966	5,966
当期変動額合計	-	-	-	649	15,095	15,745	15,745	7,018	106	△1,158	5,966	21,712
当期末残高	140,409	14,998	14,998	8,706	71,671	80,377	235,786	46,576	△194	8,182	54,563	290,349

貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	146,774	預金	4,217,188
商品有価証券	1,837	譲渡性預金	45,765
金銭の信託	7,759	コールマネー	4,631
有価証券	1,243,120	借用金	51,000
貸出金	3,108,677	外国為替	32
外国為替	7,333	社債	15,000
その他資産	38,199	その他負債	45,169
有形固定資産	29,792	退職給付引当金	9,659
無形固定資産	5,008	役員退職慰労引当金	124
繰延税金資産	8,778	偶発損失引当金	823
支払承諾見返	26,143	睡眠預金払戻損失引当金	410
貸倒引当金	△24,383	支払承諾	26,143
		負債の部合計	4,415,948
		純資産の部	
		資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	54,060
		利益準備金	6,410
		その他利益剰余金	47,650
		繰越利益剰余金	47,650
		株主資本合計	164,379
		その他有価証券評価差額金	18,714
		評価・換算差額等合計	18,714
		純資産の部合計	183,094
資産の部合計	4,599,042	負債及び純資産の部合計	4,599,042

損益計算書 (平成25年4月1日~平成26年3月31日) (単位:百万円)

経常収益	80,206
資金運用収益	58,854
(うち貸出金利息)	(48,394)
(うち有価証券利息配当金)	(10,104)
役員取引等収益	16,944
その他業務収益	1,317
その他経常収益	3,089
経常費用	62,136
資金調達費用	3,432
(うち預金利息)	(2,073)
役員取引等費用	8,321
その他業務費用	51
営業経費	45,253
その他経常費用	5,078
経常利益	18,069
特別利益	187
特別損失	163
税引前当期純利益	18,093
法人税、住民税及び事業税	3,916
法人税等調整額	4,483
法人税等合計	8,399
当期純利益	9,693

業績ハイライト

グループの概要

地域とのかかわり

地域とともに

株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本剰余金 合計		繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	93,524	16,795	16,795	5,883	41,117	47,000	157,320	17,356	17,356	174,676
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	-	526	△3,160	△2,633	△2,633	-	-	△2,633
当期純利益	-	-	-	-	9,693	9,693	9,693	-	-	9,693
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	1,357	1,357	1,357
当期変動額合計	-	-	-	526	6,533	7,059	7,059	1,357	1,357	8,417
当期末残高	93,524	16,795	16,795	6,410	47,650	54,060	164,379	18,714	18,714	183,094

財務諸表

株式のご案内

経営理念等

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	1,000株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.hokuhoku-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル **0120-288-324** みずほ
 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■ 株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式 … 口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式 … みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

配当金のお受け取りについて

◎配当金の口座振込等(銀行振込や登録配当金受領口座方式、株式数比例配分方式)を指定されていない方は、同封の「配当金領収証」により、払渡しの期間内にお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

◎配当金のお受け取り忘れはございませんか？

- 当社の定款により、支払期間から満5年を経過すると配当金のお受け取りができなくなります。
- 過去の配当金について未だお受け取りいただけていない配当金がありましたら、上記のみずほ信託銀行(フリーダイヤル)へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。
- 配当金を確実にお受け取りいただくために、口座振込等での受け取りをお勧めいたします。

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ホームページのご案内

ほくほくフィナンシャルグループ

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。



北陸銀行

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM(コンビニATMを含む)の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しています。



北海道銀行

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。



コーポレートマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたあるブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。



金融ADR制度への取り組み

当社グループの北陸銀行、北海道銀行では、お客さまからのご意見・苦情等につきまして、迅速かつ適切な対応を行うべく、指定紛争解決機関である全国銀行協会と契約を締結しています。

指定紛争解決機関は、中立・公正な立場で、解決のための取り組みを行います。

北陸銀行・北海道銀行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先：全国銀行協会相談室

電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

総合企画部広報・CSRグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>